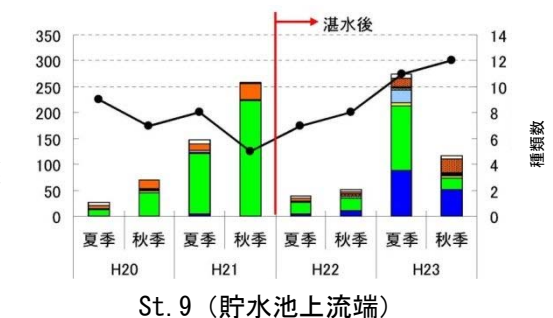
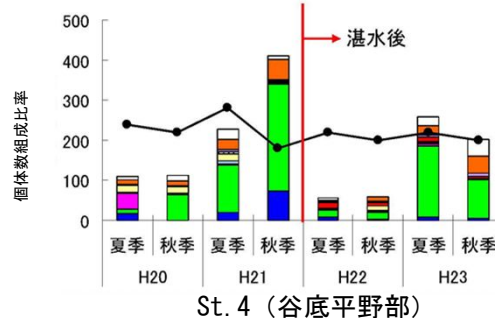
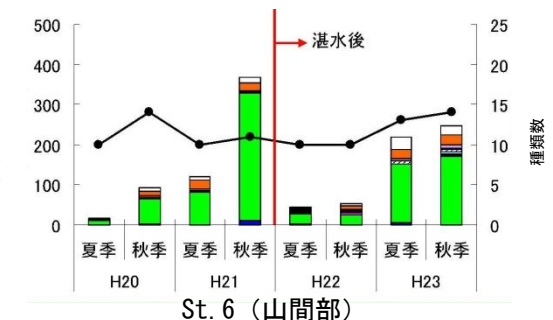
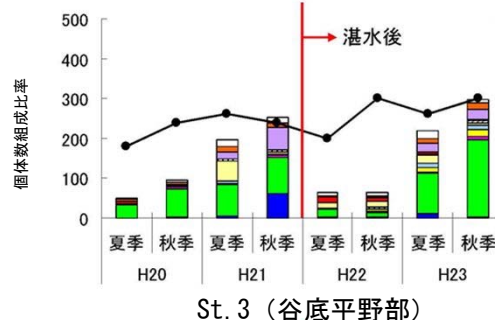
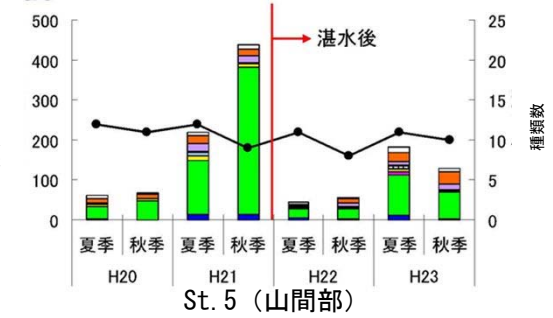
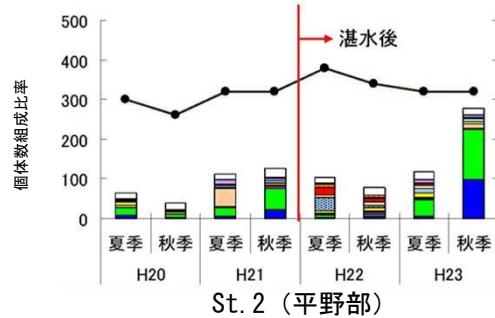
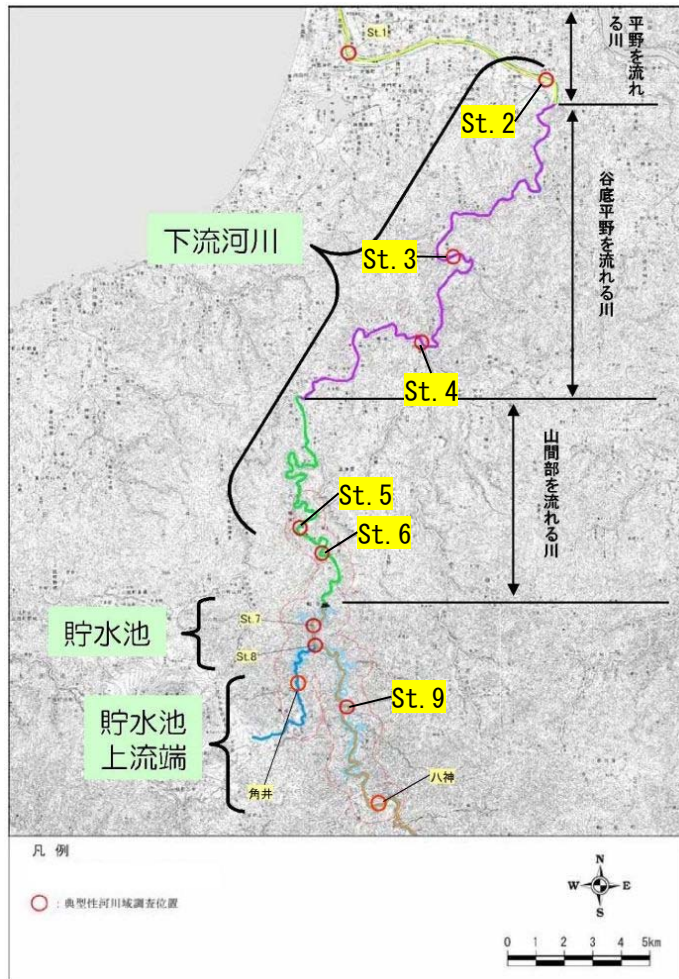
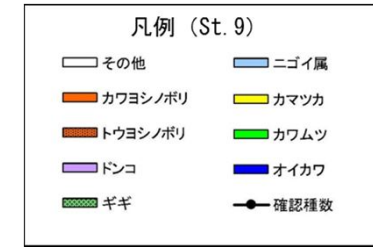
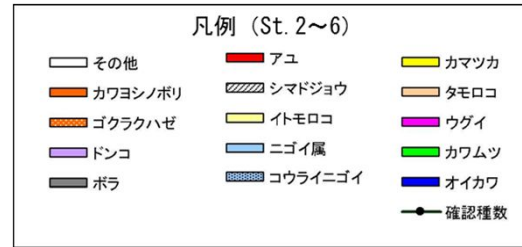


3. 神戸川の水質について 動植物相

■ 魚類

下流河川においては、いずれの区間でも志津見ダム湛水前後で魚類相に大きな変化はみられていない。

志津見ダム貯水池上流端においては、オイカワやトウヨシノボリの個体数が増加している。



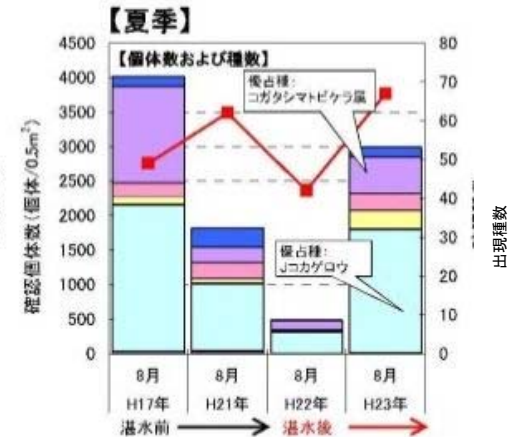
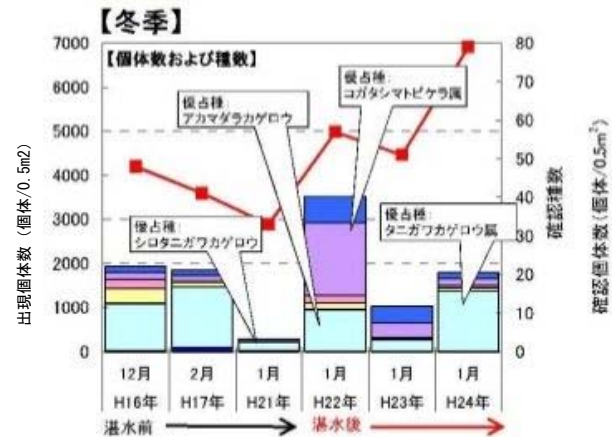
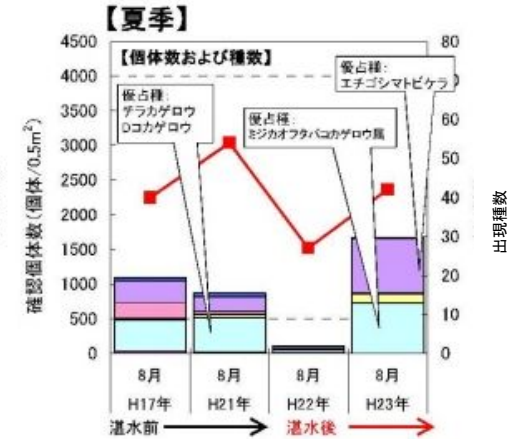
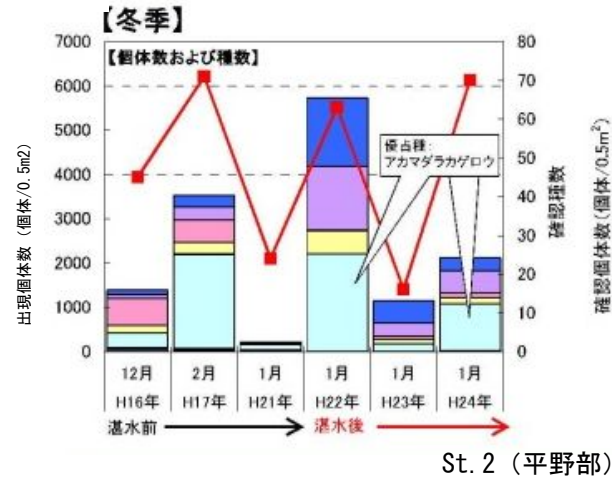
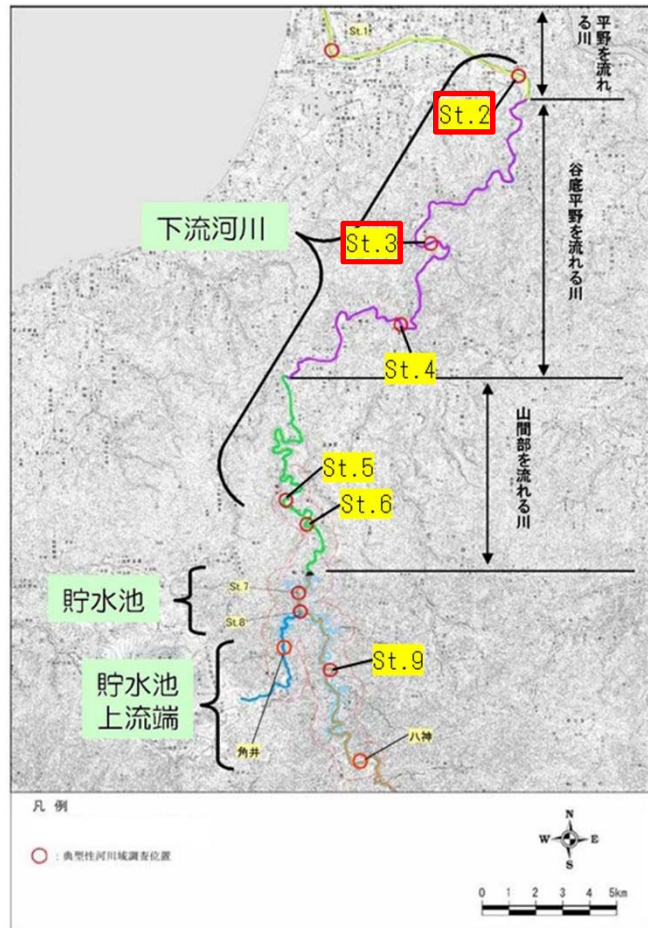
※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

■底生動物

個体数に変動はみられるが、種構成ではカゲロウ目やトビケラ目が優占しており、大きな変化はみられない。

志津見ダム貯水池上流端においては、止水性の種を多く含むハエ目が優占するようになった。



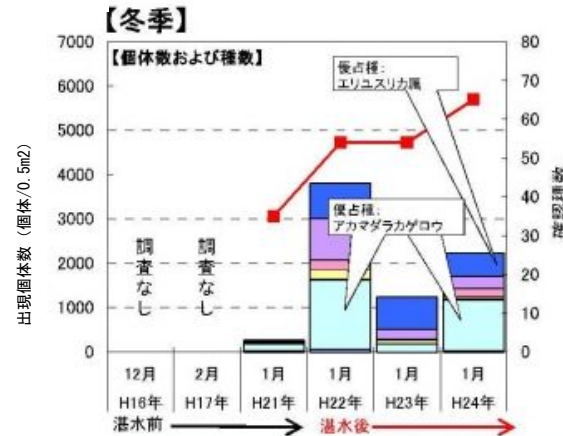
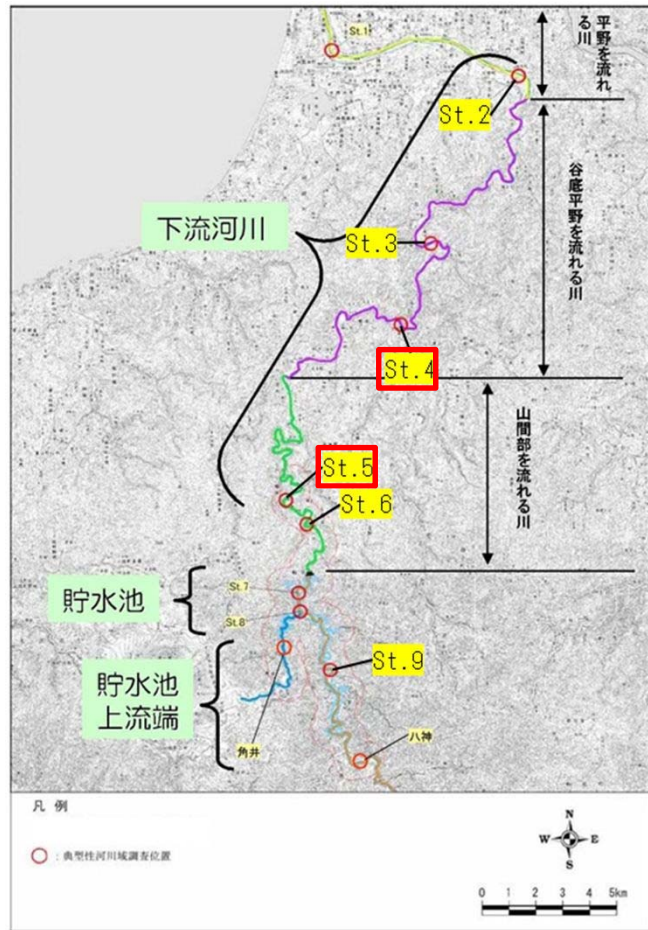
※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料（資料-4）より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

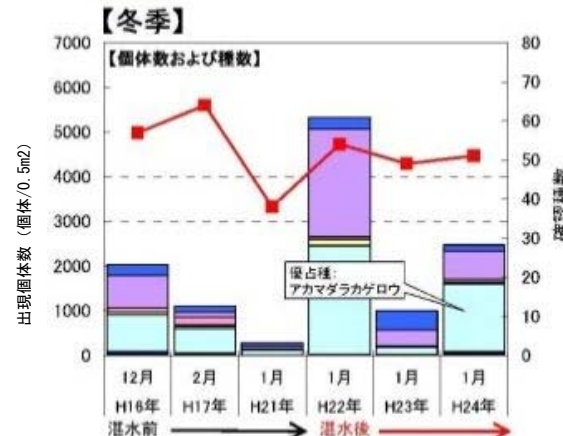
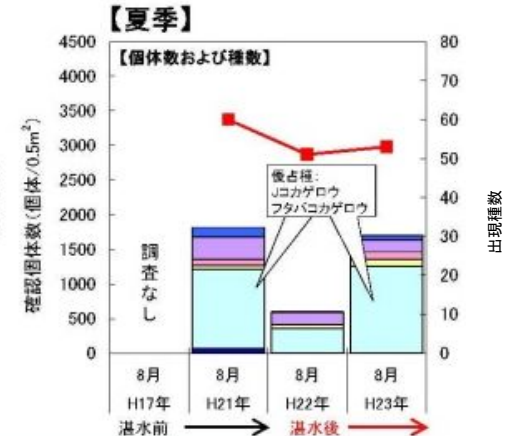
■底生動物

個体数に変動はみられるが、種構成ではカゲロウ目やトビケラ目が優占しており、大きな変化はみられない。

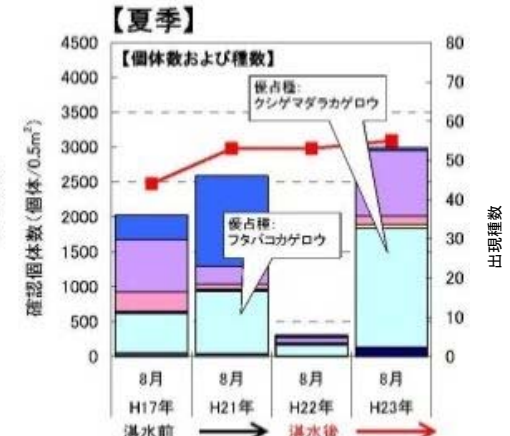
志津見ダム貯水池上流端においては、止水性の種を多く含むハエ目が優占するようになった。



St. 4 (谷底平野部)



St. 5 (山間部)



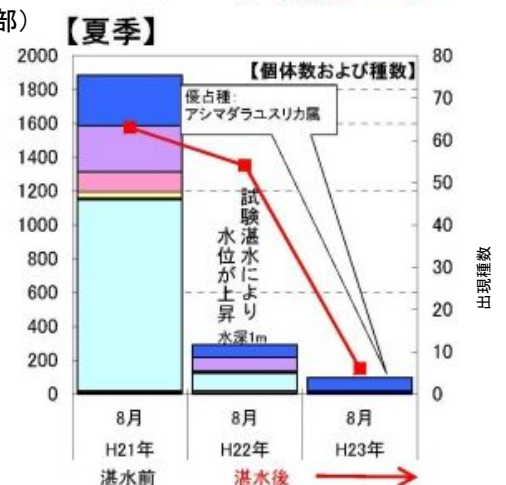
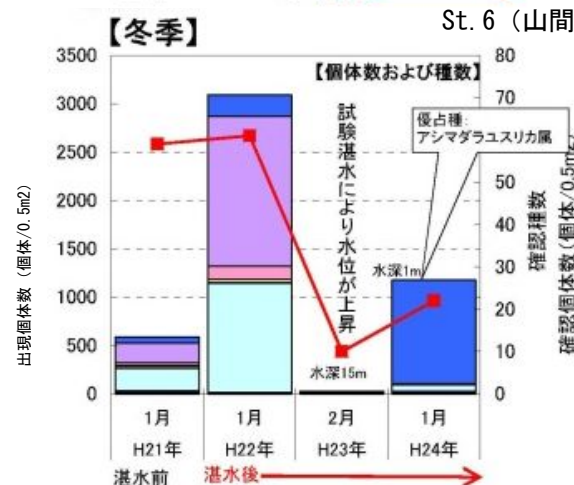
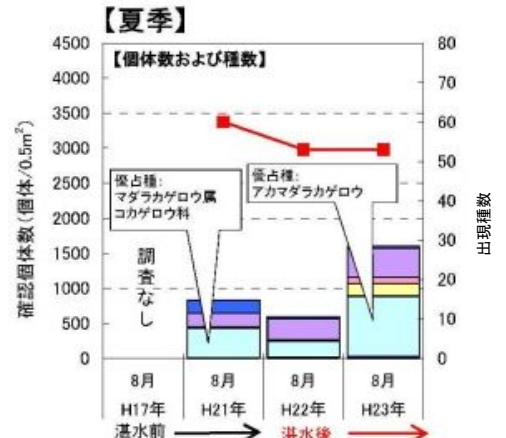
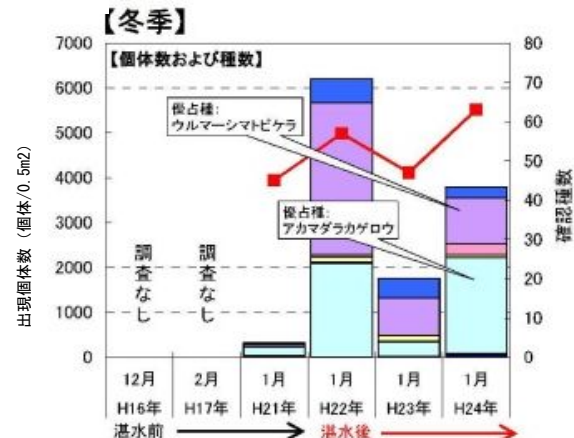
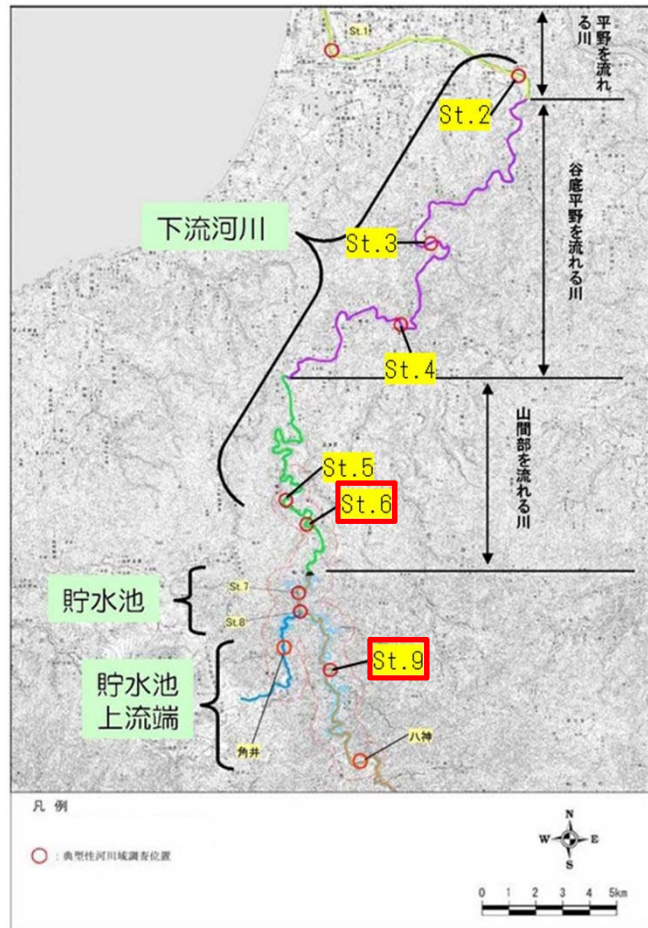
※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料 (資料-4) より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

■底生動物

個体数に変動はみられるが、種構成ではカゲロウ目やトビケラ目が優占しており、大きな変化はみられない。

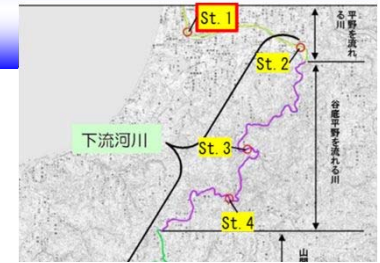
志津見ダム貯水池上流端においては、止水性の種を多く含むハエ目が優占するようになった。



St. 9 (貯水池上流端)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料 (資料-4) より引用。

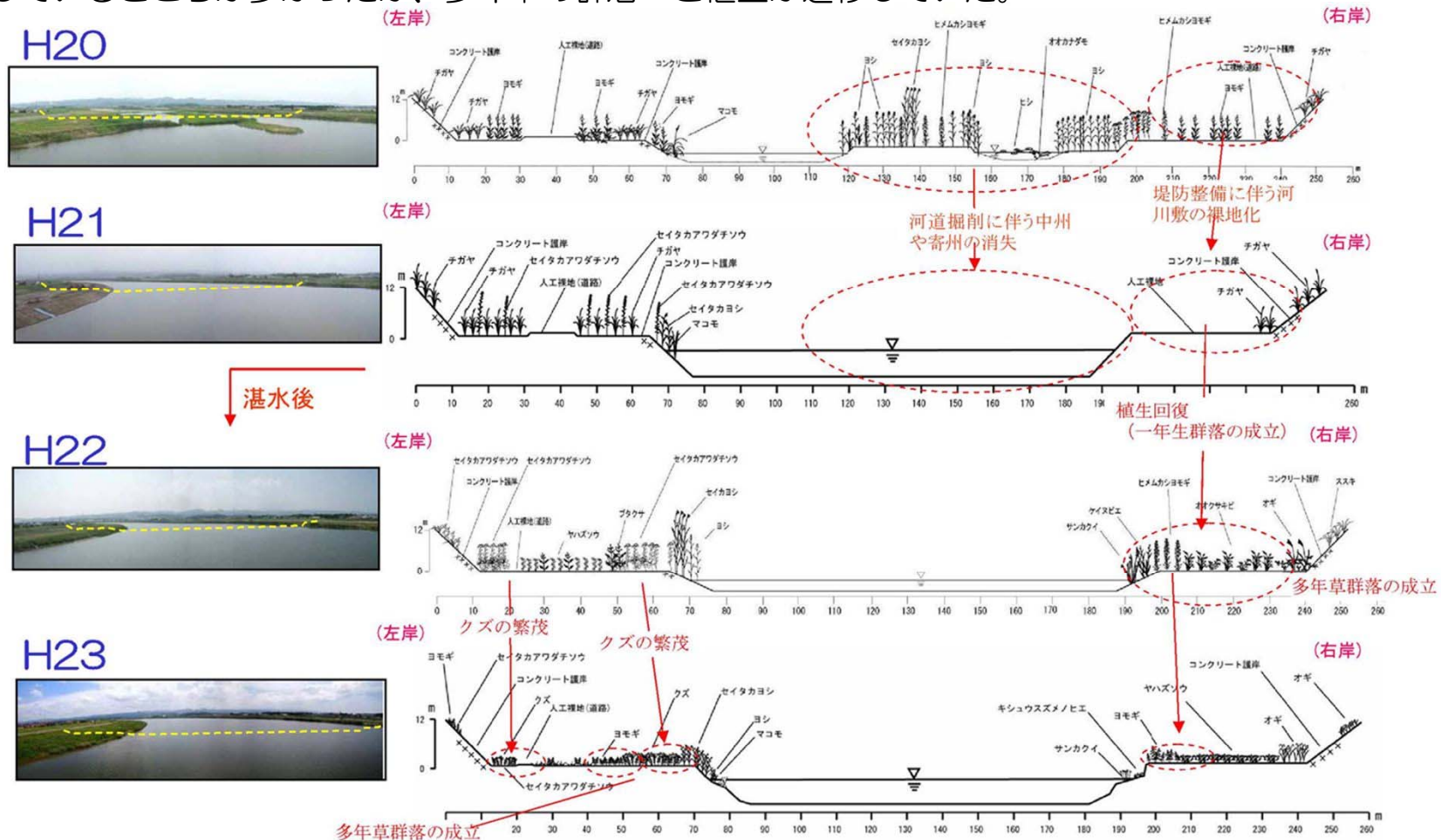
3. 神戸川の水質について 動植物相



■ 植生

出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

St. 1、2は、河道掘削や河川敷整備などにより、平成22年度に一～二年草が優占しているところが多かったが、多年草の群落へと植生が遷移していた。



St. 1 (妙見橋／平野部)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

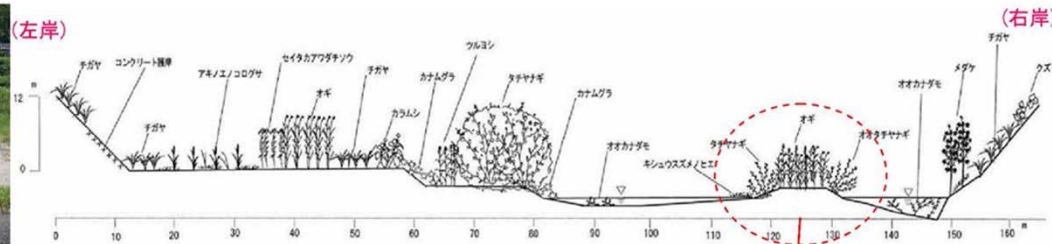


■ 植生

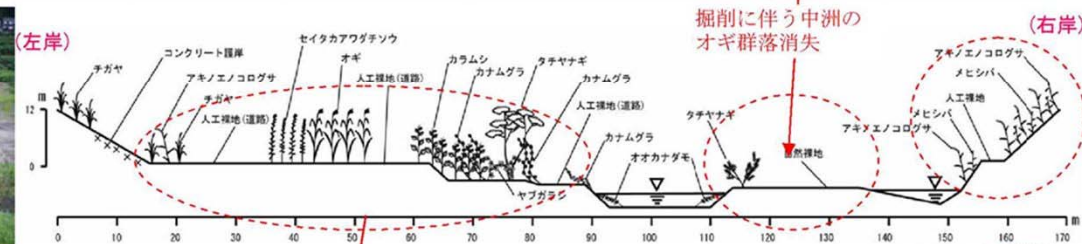
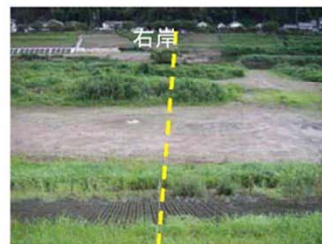
出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

St. 1、2は、河道掘削や河川敷整備などにより、平成22年度に一～二年草が優占しているところが多かったが、多年草の群落へと植生が遷移していた。

H20

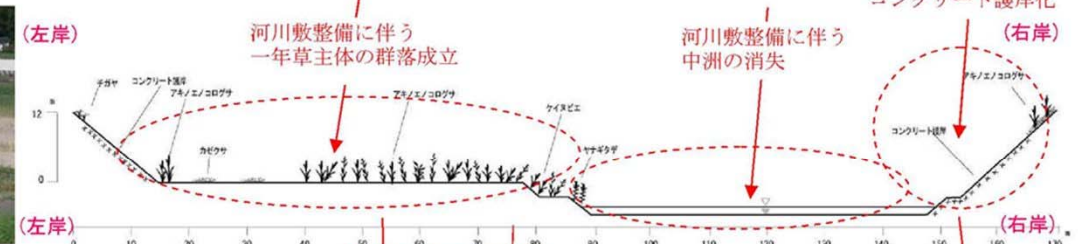
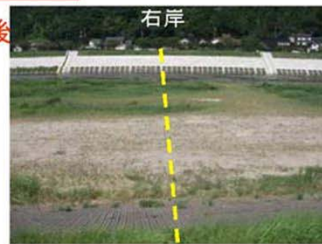


H21

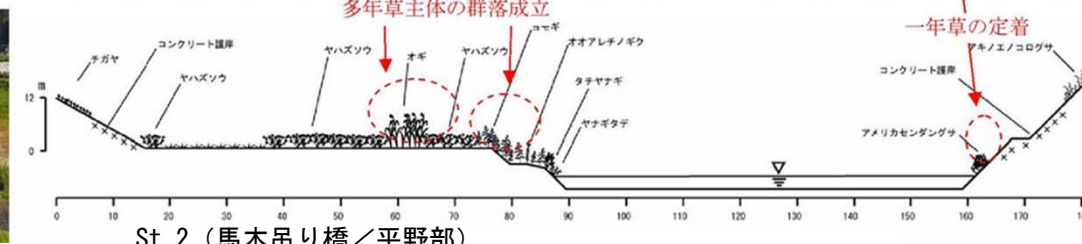
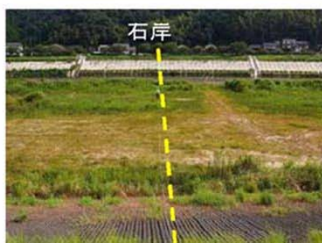


H22

湛水後



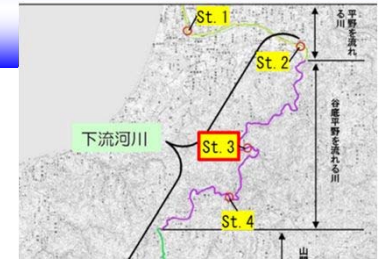
H23



St. 2 (馬木吊り橋/平野部)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

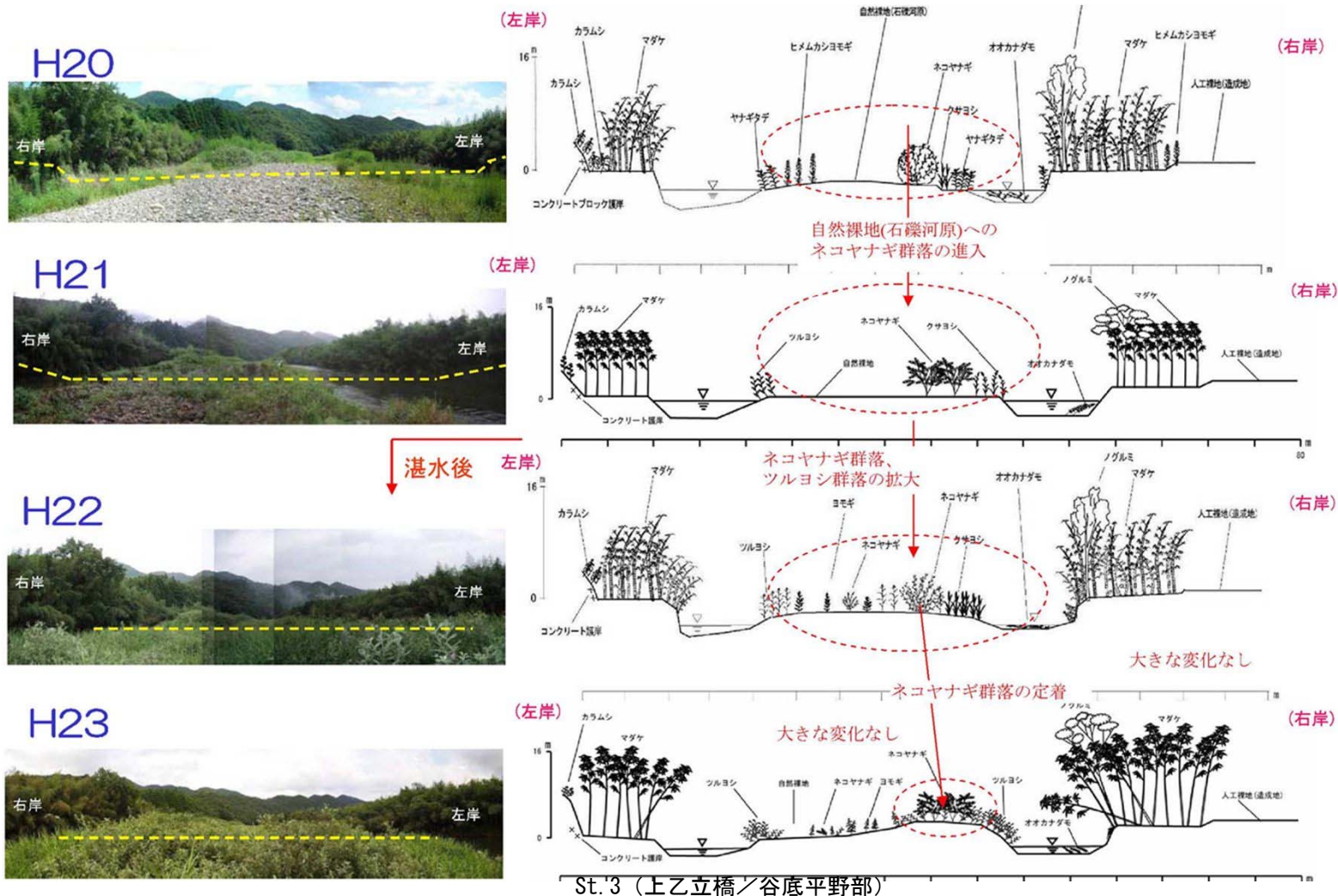
3. 神戸川の水質について 動植物相



■ 植生

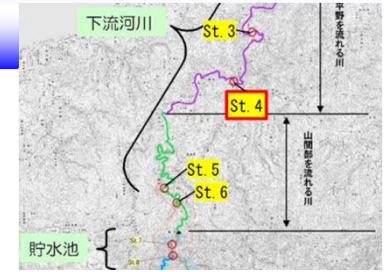
出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

志津見ダム試験湛水後、St. 3、4では、ネコヤナギ群集の定着・拡大がみられる。



※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

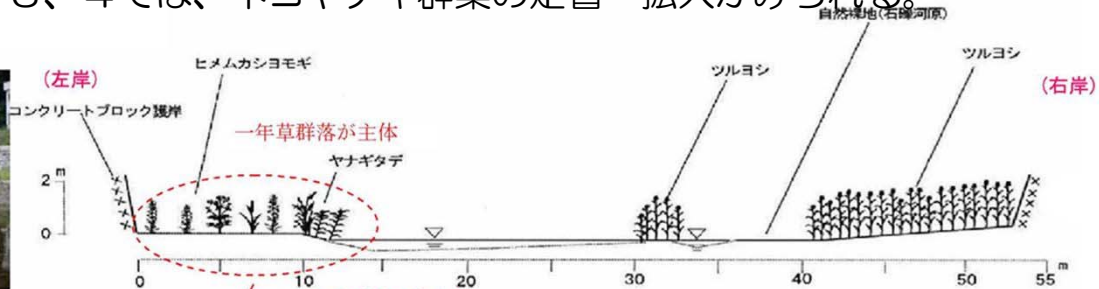


■ 植生

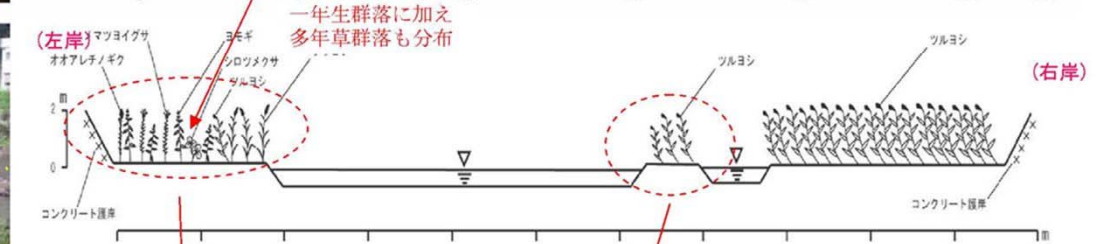
出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

志津見ダム試験湛水後、St. 3、4では、ネコヤナギ群集の定着・拡大がみられる。

H20

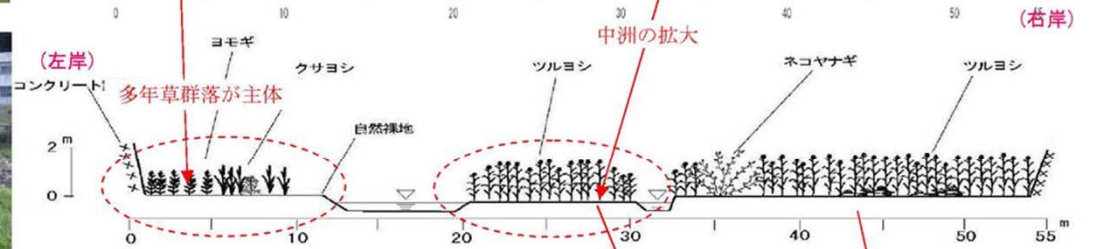


H21

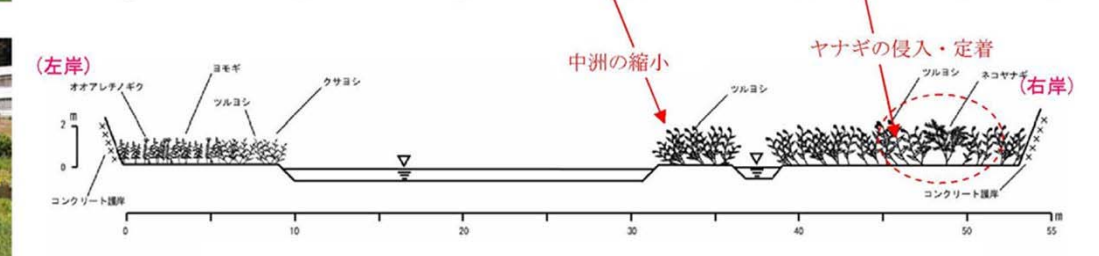


H22

湛水後



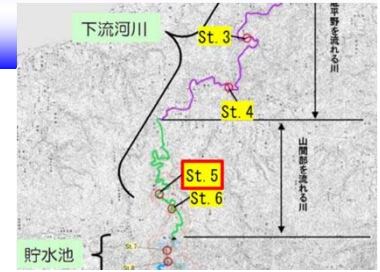
H23



St. 4 (佐田支所前/谷底平野部)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料 (資料-4) より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相



■ 植生

出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

志津見ダム試験湛水後、St. 5、6では、ツルヨシ群落やオギ群落の拡大がみられる。

H20



H21

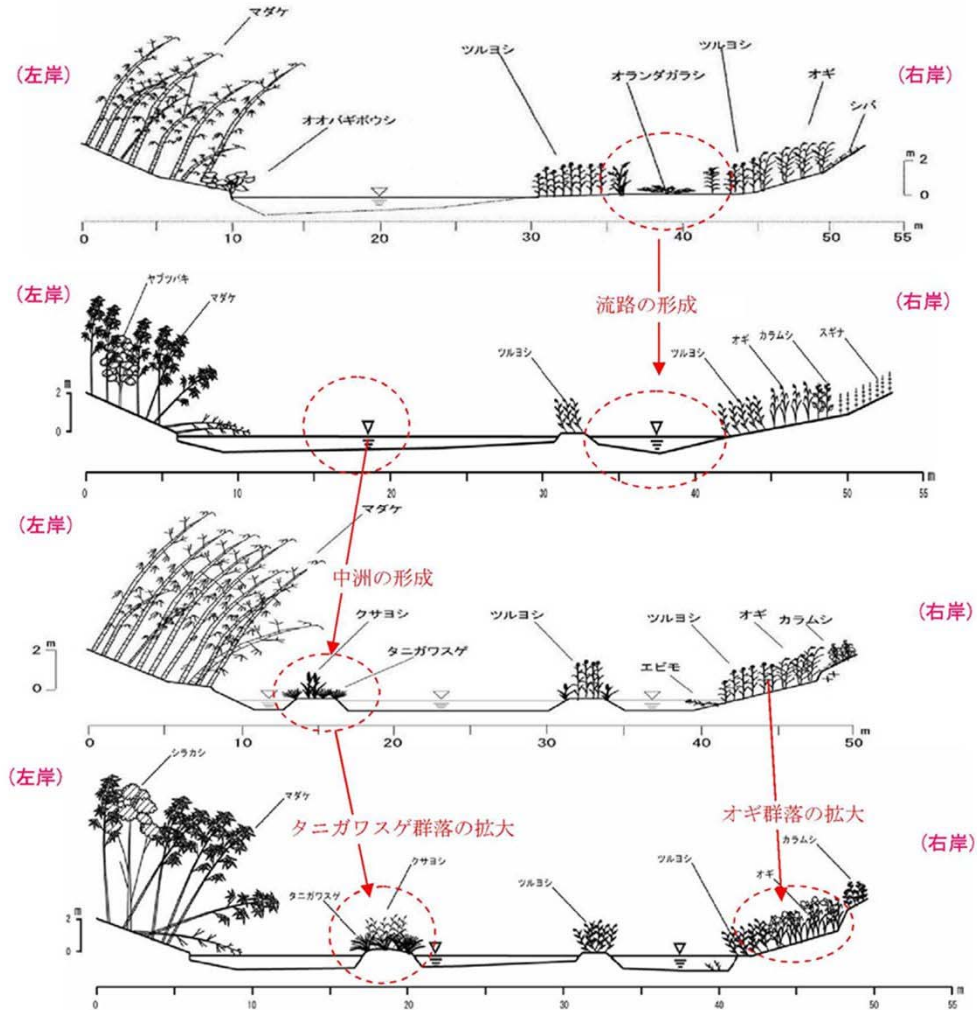


H22

湛水後



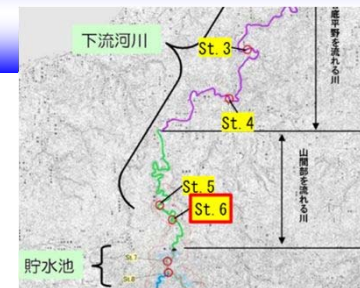
H23



St. 5 (野土橋/山間部)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

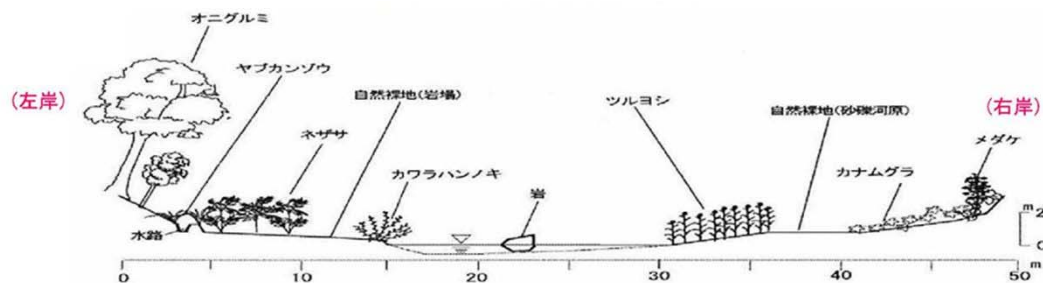


■ 植生

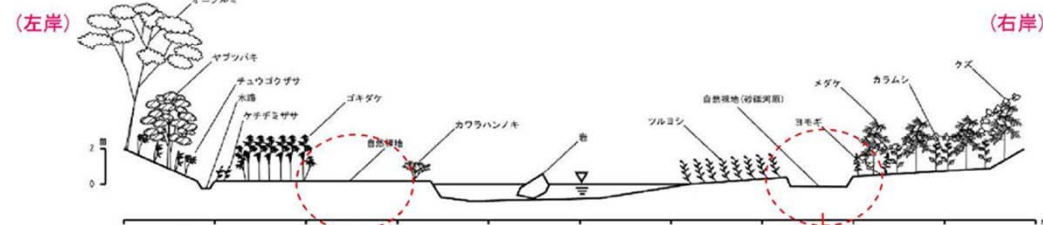
出水の頻度が低下したことに加え、試験湛水後、出水時の流量が低下したことにより河道内の攪乱頻度が低下し、植生遷移が進行した可能性がある。

志津見ダム試験湛水後、St. 5、6では、ツルヨシ群落やオギ群落の拡大がみられる。

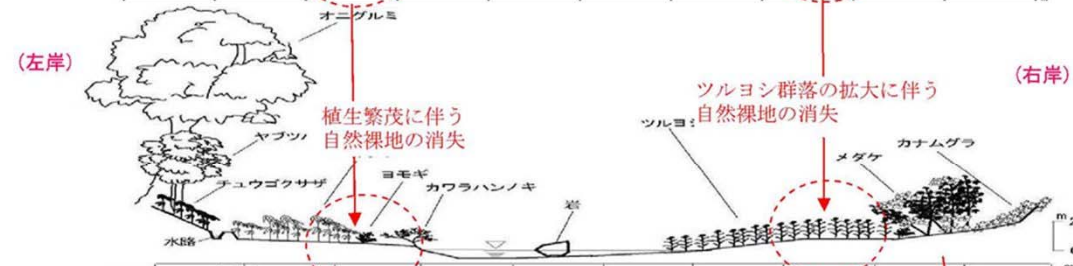
H20



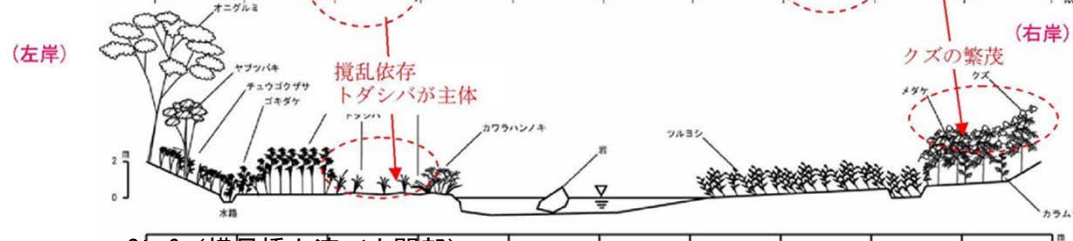
H21



H22 湛水後



H23



St. 6 (横見橋上流/山間部)

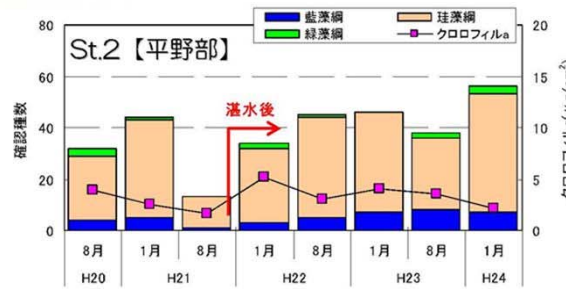
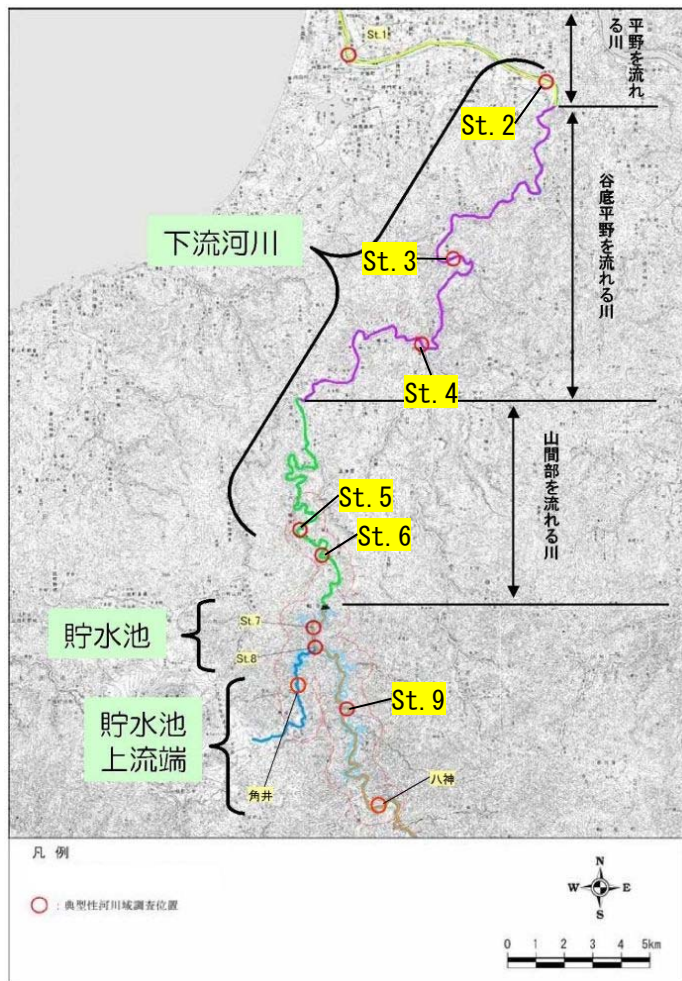
※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。

3. 神戸川の水質について 動植物相

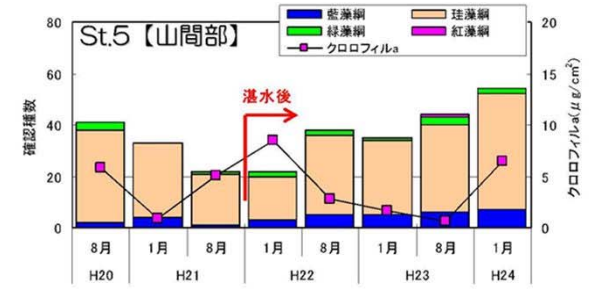
■ 付着藻類

平成23年度の調査で種数が多い傾向がみられたが、湛水前後で珪藻綱の種数が多い傾向は変わっておらず、種構成には大きな変化はみられなかった。

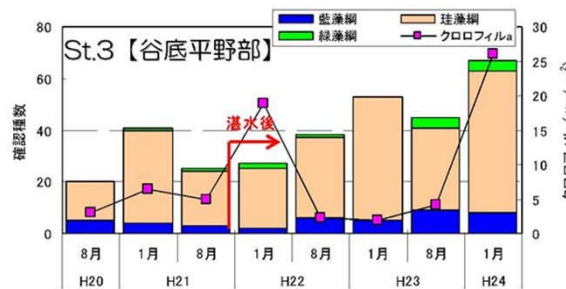
クロロフィルaは、平成24年1月にSt. 3、6で高い値を示した。



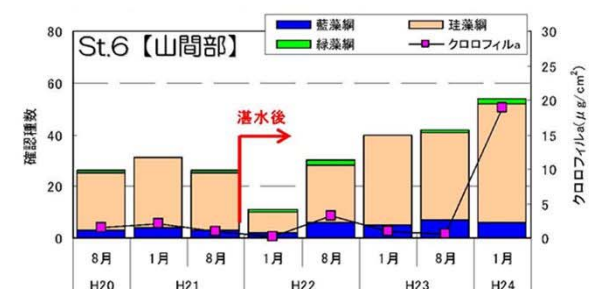
St. 2 (平野部)



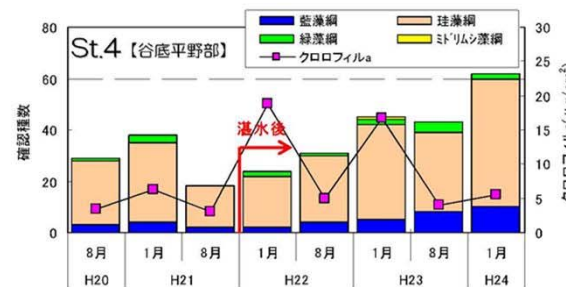
St. 5 (山間部)



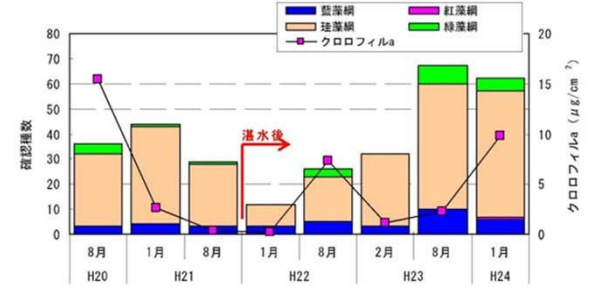
St. 3 (谷底平野部)



St. 6 (山間部)



St. 4 (谷底平野部)



St. 9 (貯水池上流端)

※第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会配布資料(資料-4)より引用。